

# 長久手町地域公共交通会議

平成20年11月25日設置  
平成21年7月7日連携計画策定



## 概要

本町では、これまで路線バス及び町巡回バス「Nーバス」を中心に住民の日常の移動を確保してきたが、平成17年に町内初の軌道型公共交通として「リニモ(東部丘陵線)」が開業したことから、町内に公共交通の基軸が形成され、本町を取り巻く公共交通体系は大きく変わった。今後は町内交通の軸としてリニモと路線バスを活かし、Nーバスで両者を面的にカバーしてだれもが使いやすいネットワークを構築し、利便性の高い公共交通を、住民・交通事業者・行政が協働で支えていくため、長久手町地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づく様々な事業を実施していく。

## ONーバスの新設路線の実証運行

### <朝夕便>

朝夕の通勤通学者を対象にリニモ各駅へのアクセスを確保するため、リニモ駅から概ね1km圏域前後で4ルートの新設し、運行する。

### <昼間便>

1ルートごとの運行区間の短縮、双方向運行区間の増設、重複区間の解消などの課題を解消するため、全面的なルート再編の上、運行する。

## ONーバスの車両増備

現在、Nーバスは車両4台を最大限活用して運行している。しかしながら、現有台数による実証運行では、①十分な運行本数が確保できない②運行時間帯が制限されるなどの課題を内包している。

こうした課題を克服するため、車両を増備し、拡充が必要と判断されたルートや運行本数について見直しを図り、住民ニーズに即した交通サービスの向上に努める。

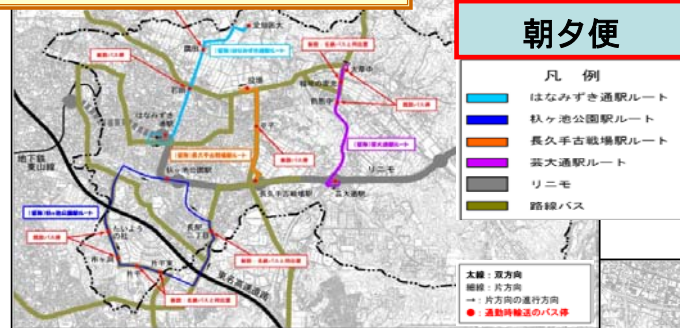
## ○公共交通利用を前提とする割引切符の導入

公共交通の利用促進を目指して、公共交通を利用した場合にメリットが生じるような割引切符の導入について取り組む。

### <取組例>

- ①沿線の商店の買い物割引をセットにした切符
- ②公共施設の利用割引とセットにした切符

## Nーバス新設路線の実証運行



## 昼間便

凡例		
路線	延長	時間
中央線	1.0 2km	3.8分
福祉の家線	2.9km	1.0分
西線	7.0km	2.7分
南線	7.4km	2.8分
東が丘線	8.2km	3.2分
東線	9.7km	3.3分
三ヶ巻線	1.3 4km	4.3分

※1 延長と時間は、起点を出発して戻るまでの往復分  
 ※2 中央線は片側の延長と時間は、片方向両回り分  
 ※3 ●●●● 土日運行  
 ※4 □印のバス停は、乗り継ぎポイント